

# 鈴木雅明 & バッハ・コレギウム・ジャパン

## Masaaki Suzuki & Bach Collegium Japan

祈りと希望をこめておくる バッハによる救いの音楽

BACH  
COLLEGIUM  
JAPAN

Bach Collegium Japan  
Luther 500 III



我ら苦しみの  
極みにある時も

東京公演 | 第121回定期演奏会

2017年3月10日 | 金 | 開演 19:00  
開場 18:30

東京オペラシティ コンサートホール タケミツ メモリアル

【チケット】10月28日(金)一般発売  
S ¥8,000 (ペア前売 ¥15,000 BCJチケットセンターのみ取扱)  
A ¥6,500 B ¥5,000 C ¥3,800 J ¥2,000 U25 ¥2,000

【プレイガイド】  
バハ・コレギウム・ジャパン チケットセンター 03-5301-0950  
東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999  
チケットぴか 0570-02-9899 Pコード 312-847 http://t.pia.jp/  
ユーゾーンチケット 0570-084-004 Lコード 33550 (取扱い店あり)  
ヴォートル・チケットセンター http://ticket.votre.co.jp/  
文化庁文化会館チケットサービス 03-5585-0650  
イープラス http://eplus.jp/

神戸公演 | 第240回神戸松蔭チャペルコンサート

2017年3月11日 | 土 | 開演 15:00  
開場 14:30

神戸松蔭女子学院大学 チャペル

【チケット】10月28日(金)一般発売  
1F 指定 ¥8,000 (ペア前売 ¥15,000 BCJチケットセンターのみ取扱)  
2F 1列目 ¥4,000 後期 ¥2,000

【プレイガイド】  
バハ・コレギウム・ジャパン チケットセンター 03-5301-0950  
ユーゾーンチケット 0570-084-004 Lコード 56324 (取扱い店あり)  
イープラス http://eplus.jp/

【主催】有限会社 バッハ・コレギウム・ジャパン  
TEL 03-3226-5333 (平日 10:30-18:00) info@bach.co.jp http://bachcollegiumjapan.org/  
【共催】公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 【後援】神戸松蔭女子学院大学 (神戸)  
【助成】文化庁 文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

J.S. バッハ 教会カンタータ・シリーズ vol.71  
J.S. バッハ カンタータ  
《平安と喜びをもって、私は逝こう》BWV 125  
《何と美しいことでしょう、暁の星が照り輝くのは》BWV 1  
《ただあなたにのみ、主イエス・キリストよ》BWV 33

J.S. バッハ

《プレリュードとフーガ 短調》BWV 544\*

《心よりわれこがれ望む》BWV 727\*

《我ら苦しみの極みにある時も》BWV 641

H. シュツツ

《葬送の音楽》op. 7より

《平安と喜びをもって、私は逝こう》

M. プレトリウス

《使者たるポリュヒュムニアと讃歌》より

《平安と喜びをもって、私は逝こう》

J.S. Bach, Canatas

Mit Fried und Freud ich fahr dahin, BWV 125  
Wie schön leuchtet der Morgenstern, BWV 1  
Allan zu dir, Herr Jesu Christ, BWV 33

J.S. Bach:  
Prelude and Fugue in D minor, BWV 544\*  
Herzlich tut mich verlangen, BWV 727\*  
Wenn wir in höchsten Nöten sein, BWV 641\*

H. Schutz:

Musikalische Exequien, op. 7—  
"Mit Fried und Freud ich fahr dahin"

M. Praetorius:

Polyphonia caduceatrix et panegyrica—  
"Mit Fried und Freud ich fahr dahin"

M. Praetorius:

"Mit Fried und Freud ich fahr dahin"



指揮 鈴木雅明  
ソプラノ 松井亜希

アルト ダミエン・ギヨン  
テノール 櫻川亮

バス ドミニク・ヴェルナー  
オルガン独奏 鈴木優人

合唱 管絃楽 バッハ・コレギウム・ジャパン

Conductor: Masaaki Suzuki  
Soprano: Aki Masui  
Alto: Damien Guillou  
Tenor: Makoto Sakurada  
Bass: Dominik Werner  
Organ solo: Masato Suzuki  
Church/Organist: Bach Collegium Japan

# ルター500プロジェクト第3弾!

Bach Collegium Japan  
Luther 500 III



宗教改革500周年を記念する《ルター500プロジェクト》の第3回を迎えます。

ルターが制定した賛美歌は、西洋音楽史に計り知れない影響を与えました。賛美歌とは、決して一人で歌うものではありません。信仰を共にする大勢の人々と一緒に歌うことで慰めと励ましを受け、当時の人々も、言葉だけでなく音楽を通して、つらい現実を生き抜く希望を見出したことでしょう。

そのようなメッセージのひとつ、カンタータ第125番《平安と喜びをもって、私は逝こう》は、老シメオンの言葉を借りて歌われます。シメオンは信仰篤い人で、救世主を見るまでは死ぬことはない、と預言を受けていました。彼はエルサレム神殿で、マリアが連れて来た幼子イエスに会い、ただちにその幼子が救世主であることを認め、「主よ、お言葉どおり、この僕を安らかに去らせてください。」と祈ったのです。《平安と喜びをもって、私は逝こう》という言葉は、シメ

オンの心情そのものであり、また彼が出会った幼子イエスは、カンタータ第1番《何と美しいことでしょう、暁の星が照り輝くのは》も歌うとおり、私たちの希望の星に他なりません。

今回のコンサートは、期せずして東日本大震災の記念日と重なりました。この世においては、つらい記憶が癒えることはないかもしれません。しかしバッハは私たちに、「わが心は慰められ、死は限りとなった」(第125番第1曲)と歌わせます。バッハにおいては、追悼の音楽こそ希望の響きであり、ルターからバッハを通して私たちに贈られた、最も確かな礎がここにあるのです。

みなさま、この恵みのひとときを、どうぞ一緒に。

バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督 鈴木雅明



鈴木雅明 指揮 Masaaki Suzuki, conductor

1990年「バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ)」を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。BCJを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場し、極めて高い評価を積み重ねている。近年は海外のモダン・オーケストラとの共演で多彩なレパートリーを披露。2013年にはBCJ合唱団を率いてニューヨーク・フィル定期にデビュー、大きな成功を収めた。CD録音も目覚ましく、特にBCJとの《バッハ：教会カンタータ・シリーズ》等では「歯切れよさ、明晰さ、そして峻厳な精神性の高さは聴く者の心を動かさずにおかない(タイムズ)」と賛辞が寄せられている。2012年ライブツィヒ市より国際的なバッハ演奏の貢献に対して「バッハ・メダル」を、2013年度サントリー音楽賞をバッハBCJと共に受賞。2015年オランダ改革派神学大学名誉博士号を授与された。現在、米国イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授。



バッハ・コレギウム・ジャパン 合唱&管弦楽  
Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。J.S.バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的な上演を目指して活動し、『アンサンブル全体が協和しながら光を放つような響きの美しさ(朝日新聞)』と高く評される。海外公演も多く、15年5月にはブラハの春国際音楽祭などに出演、10~11月には器楽アンサンブルによるアメリカ公演(12都市)を実施。2016年春のロンドン・ウィーンを含むヨーロッパツアーでは《ミサ曲 短調》を演奏、各地で絶賛を博した。これまでに80点に及ぶCDを発表し、多くの賞を受賞。2011年『バッハ：モテット全集』が欧州3カ国のベスト・ディスク賞を獲得。1995年から時系列順で取り組んだ『バッハ：教会カンタータ・シリーズ』が2013年に全曲演奏・録音(全55巻)を完遂。2014年ドイツ・エコー・クラシック賞 エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤー部門を受賞。

出演アーティスト ◎ソリストおよびコンサート・マスター

ソプラノ 松井亜希◎ 澤江衣里 中山美紀 藤崎美苗	テノール 櫻田 亮◎ 鏡 貴之 谷口洋介 藤井雄介	フルート 菅 きよみ オーボエ 三宮正満 荒井 蒙	ヴィオラ 成田 寛 原田 陽
アルト ダミアン・ギヨン◎ 青木洋也 鈴木 環 布施奈緒子	バス ドミニク・ヴェルナー◎ 浦野智行 加未 徹 藤井大輔	ヴァイオリン 寺神戸 亮◎ 若松夏美 高田あずみ 荒木優子 竹嶋祐子 山内彩香	チェロ 山本 徹
		ヴィオラオーネ 西洋誠治	チェンバロ、オルガン 鈴木優人
			ホルン オリヴィエ・ピコン 能瀬愛加

※出演者は都合により変更になる場合がございます。予めご了承下さい。



松井亜希 ソプラノ Aki Matsui, soprano

岩手県出身。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程・博士課程を修了。20世紀フランス歌曲研究で博士号取得。在学中に日仏声楽コンクール、友愛ドイツ歌曲コンクール優勝、日本音楽コンクール入選。近年はBCJメンバーとして多くの公演・録音に参加、代役ソリストを務めたカナリア諸島音楽祭ほか、国内外でのヘンデル、バッハ公演独唱で高く評価され、新国立劇場『ポッペアの戴冠』においても絶賛を博す。2014年12月、東京オペラシティ・リサイタルシリーズ「B→C バッハからコンテンポラリーへ」に出演。広範なレパートリーとしなやかで透明度の高い歌声を生かし、多彩な活動を行なっている。



ダミアン・ギヨン カウンターテナー Damien Guillon, countertenor

ブルターニュの聖歌隊学校で音楽を学び、ソプラノとして歌い始める。パーゼル・スコラ・カントールムでアンドレアス・ショルに師事。声楽と通奏低音とチェンバロでブルミエ・プリを獲得。ソロとオペラの双方でフランス国内外で活動し王立モネ劇場ではフィリップ・エルロ指揮/モンテヴェルディ《ウリッセの故郷への帰還》、クリスティ指揮《聖アレッシオ》、カーニ歌劇場での《ジュリオ・チェザレ》等にも出演。BCJとは09年5月新国立劇場で《ポッペアの戴冠》オットー役、エディンバラ国際フェスティバルで《リナルド》ユスタチオ役や2014年3月フランス・スペイン公演等で共演を重ね、好評を博している。



櫻田 亮 テノール Makoto Sakurada, tenor

声楽を故平野忠彦、G.ファブリーニ、W.マッテウツィ、G.バンディテッリの各氏に師事。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞、2002年ブルージョ国際音楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。アカデミア・ビザンティナ、ヴェスナ・バロック・オーケストラなど一流の古楽アンサンブル、国内外のモダン・オーケストラ等と多数共演する他、クレモナ音楽祭、エディンバラ音楽祭など主要なオペラ舞台でも活躍している。日本イタリア古楽協会運営委員長。二期会会員。2013年より東京藝術大学准教授。2016年4月BCJヨーロッパ公演(ウィーン、アムステルダム等)でソリストを務めた。



ドミニク・ヴェルナー バス Dominik Wörner, bass

シュトゥットガルトで教会音楽を、フライブルクで音楽学とチェンバロを学ぶ。2002年ライブツィヒ国際バッハ・コンクールで優勝し、ライブツィヒ・バロック・オーケストラの特別賞も獲得。リート作品への興味も深く、ドイツ・ロマン派作品の演奏を中心に現代曲の初演なども行うなど、そのレパートリーは多岐にわたる。BCJとは2005年以降、国内外で定期的に度々共演を重ね、メンデルスゾーン《パウルス》や2016年4月ヨーロッパ公演での独唱等で高い評価を得ている。キルヒハイム音楽祭芸術監督。



鈴木優人 オルガン独奏 Masato Suzuki, organ solo

東京藝大及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。鍵盤奏者・指揮者としてバッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ) や横浜シンフォニエッタなど国内外の公演に多数出演。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開。2015年は春にラ・フォル・ジュルネでBCJ《マイ受難曲》、アーティストック・ディレクターを務めた秋の東京芸術劇場開館25周年記念公演では、東京交響楽団メシアン《トゥランガリラ交響曲》を指揮するなど多彩なプログラムを披露。調布音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はない。

## バッハ・コレギウム・ジャパン Bach Collegium Japan

### BCJによるモーツァルト第2弾はミサ曲ハ短調 豪華ソリスト陣にも注目!

モーツァルト:

- ①ミサ曲 八短調 K.427(1782-83)
- ②エクスルターテ・ユビラート(踊れ、喜べ、幸いなる魂よ)K.165(1773)
- ③エクスルターテ・ユビラート(踊れ、喜べ、幸いなる魂よ)K.165よりI.アリア「歌え、歓べ」(1779? ザルツブルク版)

キャロリン・サンブロン(ソプラノ)、オリヴィア・フェアミューレン(メゾ・ソプラノ)、櫻田亮(テノール)、クリスティアン・イムラー(バリトン)

鈴木雅明(指揮)

セッション録音: 2015年11月/彩の国さいたま芸術劇場

●BIS SA 2171(SACD Hybrid) オープン価格

### 被災地への祈りと熱きエール

J.S. バッハ:

- ・カンタータ第 105,106,115,127,151,156,159,170 番号より
- ・モテット「来たれ、イエスよ、来たれ」BWV 229
- ・オルガン・コラール「心よりわれこそが望む」BWV 727
- ・オルガン・コラール「われら悩みの極みにありて」BWV 641
- ・オルガン・コラール「私はあなたに叫び求めます、主イエス・キリストよ」BWV 639

鈴木雅明(指揮&オルガン)、他

●BIS 2011(CD) 日本語解説付/オープン価格

音楽と素晴らしい演奏を通して被災者の方々にエールを送ると同時に、CDの印税収入を寄付することを目的としています。大半は既発のカンタータ中のナンバーで、米良美一やミアノ・ジョンなど懐かしい面々も総動員。さらに鈴木雅明がこのアルバムのために2011年11月に神戸松蔭女子学院大学チャペルのオルガンを用いて3篇のオルガン・コラールを新録音しているのも聴きもの。鈴木雅明の熱い想いが伝わる感動的な演奏となっています。